



CONTENTS

- [TOP] 一流企業TOPインタビュー「コマツ」
- 2. Information / 5分でエッセンスが分かるビジネス書 / 5分で分かる!ビジネスキーワード
- 3. Information
- 4. みなとく名店「にっぽんの洋食 赤坂津つ井」 未来に託す技巧「白田総合研究所株式会社」

TOP INTERVIEW

コマツ

代表取締役社長 兼 CEO 大橋徹二 (おおはいてつじ)氏

“ダントツ”の先進技術で 現場に新しい価値を創造 建設・鉱山機械のトップメーカー・コマツ

2013年4月に社長に就任した大橋徹二氏は、英語力抜群の技術者で、今後ますます発展するグローバル展開の要として注目を集めています。海外展

開を1950年代からと、いち早く始めたコマツならではの、外国人スタッフとの意思疎通の仕方について、興味深いお話を伺うことができました。



燃費4割減!ハイブリッド油圧ショベル

ブルドーザーや油圧ショベル等の建設・鉱山機械でおなじみの国内メーカー、コマツ。海外・国内で本社を含め180社のグループ会社を持ち、建設機械市場では、世界2位のシェアを誇っています。

同社は「ダントツ商品」「ダントツ・サービス」「ダントツ・ソリューション」の開発・導入を通じて、お客さまの現場に新しい価値を創造するインベションの提供をめざしています。その代表商品が、世界初の『自動ブレード制御機能搭載中型ICTフルドーザー』です。これはブレード(排土板)の制御を



大橋徹二氏

自動化することで、生産効率を大幅に向上させ、熟練オペレーター並みの作業を実現する次世代の建設機械です。

大橋氏は「お客さまの施工現場の自動化の第一歩となる機械です。日本の工場は過去40年で自動化・無人化がかなり進みましたが、我々のお客さまの現場である建設現場の自動化はまだこれからです。今はまだ断片的な自動化ですが、将来的には建設現場の無人化をめざしており、実現できれば建設現場の安全性は更に飛躍的に向上します」と話します。

また、同社では2008年に世界で初めて市場導入され、燃費を最大4割削減できる『ハイブリッド油圧ショベル』や急速充電が可能で、バッテリー式ながら耐水性・防塵性を向上させたことで、港区内にも多い産業用倉庫等で活躍する『バッテリー式フォークリフトFE25-1』等、特徴のある「ダントツ商品」を市場導入しています。

大橋氏は「私たち企業は、事業活動を行う上でまわりの環境と共に生きていく。安全はもちろん、環境への配慮やエコロジーへの貢献を率先して行うべき」と話します。

トップの本気度が現場を改革 ロジカルな分析で課題解決を

コマツの創立は1921年。経済成長とともに成長し、他業界に先駆けて海外進出を果たし、今や建設・鉱山機械事業の生産拠点は国内・海外で48カ所を数えます。多くの企業が、外国人労働者の対応に苦慮する中、大橋氏は「どの国でも、どんな人でも、皆さん仕事に真面目な態度で臨んでいただきます。何が課題なのかを丹念に洗い出し、きちんと対話して、データを検証する。解決すべき内容が見えたら、どこの国の人でも自発的に改善に向けて行動します」と言い切ります。

大橋氏は、社長就任前にコマツの



自動ブレード制御機能搭載中型 ICT フルドーザー

米国現地法人の社長として、当時赤字だった鉱山機械事業の立て直しに尽力しました。現場である工場へ大橋氏自ら何度も足を運び、しつこくデータを検証し、問題のあった鉱山機械の品質改善に取り組みました。当初は片道2時間かけて現場に通ってくる社長に怪訝な顔をしていた現地スタッフもいたといいます。

「要は、課題解決に取り組む本気度です。本気度が足りなければ解決できません。現場に足を運び、原因をつきつめるプロセスをきちんと示すことが必要で、そうすることで、社員の皆さんと一体となった改革ができると思います」(大橋氏)現場が一体となって品質改善に取り組んだ結果、鉱山機械の品質は向上し、現在鉱山機械事業はコマツの収益の柱に成長しています。

結果はプロセスで決まる プロセスは現場で見える

大橋氏は、2013年4月に代表取締役社長に就任しました。その際に、現相談役の坂根正弘氏が社長時代にまとめた「コマツウェイ」を何度も読み返したそうです。「コマツウェイ」は、経営層を含むコマツグループのすべての社員が共有する価値観とそれを実行する行動様式をまとめたもの

です。大橋氏が、その中で最も強く心に留めていることは、コーポレートガバナンス(企業統治)の重視と人材育成です。

現在、大橋氏は国内拠点12カ所を年2回、海外は年に11カ所、その他にも代理店やお客さまの現場を数多く回るようにして、各地の社員、管理職や、取引先との「対話」を行い、現場重視の考え方を実践しています。

「ものごとの結果は、プロセスで決まるんですね。プロセスを見るには現場に行かなければわからない。現場というのは、建設現場や工場だけではなく、例えば開発や経理のセクションも現場です。何でも言えるように情報を共有する。そうすることで、一体感というか、頑張ろう、という気運が高まるのです」(大橋氏)

全てのステークホルダー(利害関係者)とコミュニケーションを取り、会社を「見える化」しながら、ものをつくり、ひとをつくり、社会をつくる——ダントツの力は、そこにも発揮されています。



全社員ミーティングを増やし、精神的に“対話”をする大橋氏



●連絡先
住所：港区赤坂2-3-16
電話：03-5561-2616
(本社コーポレートコミュニケーション部広報グループ)

INFORMATION 港区・その他

区のインフォメーション

中小企業人材育成成熟のご案内 「財務会計ソフト研修(弥生会計)」 受講者募集

港区は、中小企業人材育成成熟を行っています。今回は「財務会計ソフト研修」です。最新の「弥生会計15プロフェッショナル」を使い、伝票入力や決算操作等の入力方法を講義します。ご活用ください。

- ◆対象
区内中小企業の経営者・従業員
 - ◆とき
平成27年1月28・29日(水・木)
毎回午前10時～午後4時30分
※2日間で1コースです。
 - ◆ところ
港区立商工会館
(港区海岸1-7-8 東京都産業貿易会館6階)
 - ◆定員
12人(申込先着順) ※2日間参加できる方
 - ◆費用
3000円
※遅参・欠席は、必ず事前連絡をお願いします。
※5営業日前(平成27年1月21日)からのキャンセルについては、研修テキストの送付をもって受講料をご負担いただきます。
 - ◆申し込み
WEB申込みフォームのみで受付
平成27年1月20日(火)午前12時まで
産業振興課ホームページ「MINATO あらかると」
<http://www.minato-ala.net>
からお申し込みください。
- <問い合わせ>
産業振興課産業振興係
電話：03-3578-2551

人材育成セミナー・仕事に役立つシリーズ 第3弾のご案内 「仕事に役立つビジネスマナー」受講者募集

区では、人材育成セミナーを行っています。今回は、社会人として最低限身につけておきたいさまざまなビジネスの基本スキル、ルール、マナーを伝授します。ご活用ください。

- ◆対象
区内中小企業の経営者・従業員
- ◆とき
平成27年1月16日(金)午後1時30分～午後4時30分
- ◆ところ
港区立商工会館
(港区海岸1-7-8 東京都産業貿易会館6階)
- ◆内容
「社会人としての基本マナーをお教えます!!」
○来客応対時・訪問時のマナー
○ビジネスシーンでのNGチェック
○冠婚葬祭の基本 等
(株)アクト・テクニカルサポート
チーフインストラクター 加治祐子氏
- ◆定員
30人(申込先着順)
- ◆費用
無料
- ◆申し込み
港区立商工会館 電話：03-3433-0862

詳しくは、ホームページ
<http://minato-shoukou.jp>
をご覧ください。

<問い合わせ> 港区立商工会館
電話：03-3433-0862

企業間連携交流会・分科会 「オープンイノベーションとスタートアップが拓く 新ビジネス創出セミナー 2015」のお知らせ

「オープンイノベーション」は産業政策の柱の一つで、他社や大学・研究機関等が持つ技術やアイデア、ノウハウを活用して新しいビジネスの創出につなげる手法です。「スタートアップ」は起業大国を実現するキープレーヤーであり、業界の常識を覆すサービスを続々と輩出しています。

本セミナーでは、多種多様な組織・人材が連携するオープンイノベーションの枠組の中で、スタートアップの成功/ビジネス連携を推進するサービスと、今後の成長産業である「エネルギー」「予防医療」「オープンデータ」「農業」「産業用ロボット」分野において革新的イノベーションを実現しうる特選のスタートアップを計14件紹介し、企業間連携を促進することで、新ビジネスの創出をめざします。

セミナー終了後に、講演者との交流や名刺交換の時間を設けます。皆さんの参加をお待ちしています。

- ◆対象
中小企業者等
- ◆とき
平成27年2月10日(火) 分科会：午後1時～午後5時
交流会：午後5時15分～
- ◆ところ
赤坂区民センター 区民ホール
(港区赤坂4-18-13)
- ◆内容
(1)午後1時～1時10分
「経済産業省のベンチャー支援の取組」
関東経済産業局 地域経済部 新規事業課
課長 長嶋繁氏

(2)午後1時10分～午後1時25分
「NEDO プラットフォームの構築によるスタートアップイノベーターの成功支援」
独立行政法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構
井出弘氏

(3)午後1時25分～午後1時40分
「crew コラボ」によるスタートアップと大手企業のオープンイノベーション」
Creww 株式会社
CEO 伊地知天氏

(4)午後1時40分～午後1時55分
「中小・ベンチャー企業の大企業発特許活用を支援する Web 型オープンイノベーション」
フジサンケイビジネスアイ イノベーションズアイ事務局
代表 加藤俊之氏

(5)午後1時55分～午後2時10分
「世の中から卒業をなくす「school WEB-campus」最前線で活躍する起業家たちから無料で学べるスタートアップ学部」
株式会社スクー
代表取締役社長 森健志郎氏

(6)午後2時10分～午後2時25分
「次代を担う起業家型リーダーの輩出支援プログラムと起業家向け金融支援」
NPO 法人 ETIC / 西武信用金庫

(7)午後2時25分～午後2時40分
「イノベーション人材の異業種連携の交流促進に向けて「Innovation Cafe」」

Innovation Cafe 実行委員会

(8)午後2時40分～午後2時55分
「米 国クラウドファンディングプラットフォーム「KickStarter」への挑戦支援サービス」
株式会社 AWESOMEJAPAN
代表取締役社長 金野太一氏

(9)午後2時55分～午後3時10分
「中小・ベンチャー企業による3Dプリンタ等を活用した試作開発を支援するものづくり拠点」
株式会社 DMM.com 3D プリント事業部
事業部長 白井秀範氏

(10)午後3時20分～午後3時40分
「革新的リチウムイオン電池「ハイパー電池」の開発・実用化」
CONNEXX SYSTEMS 株式会社
代表取締役社長 塚本壽氏

(11)午後3時40分～午後4時
「日本初個人向け大規模遺伝子解析サービスによる健康長寿・予防ビジネスの創出」
株式会社ジーンクエスト
代表取締役社長 高橋祥子氏

(12)午後4時～午後4時20分
「自治体向けオープンデータプラットフォームの提供によるオープンデータ活用アプリの普及促進」
株式会社 jig.jp
代表取締役社長 福野泰介氏

(13)午後4時20分～午後4時40分
「日本発スマートアグリで「Japan as Number1」の再来を!」
株式会社ルートレック・ネットワークス
代表取締役社長 佐々木伸一氏

(14)午後4時40分～午後5時
「ティーチレスシステム「MUJIN コントローラ」による産業用ロボットの市場・用途拡大」
株式会社 MUJIN
代表取締役社長 滝野一征氏

◆定員
400人(事前申し込み・先着順)

◆費用
無料 交流会 2000円

◆申し込み
平成27年1月7日(水)～2月6日(金)まで
港区コールセンター
電話：03-5472-3710 / FAX：03-5777-8752
受付時間：午前9時～午後5時(無休)

詳しくは、産業振興課ホームページ
「MINATO あらかると」
<http://www.minato-ala.net>
をご覧ください。

<問い合わせ>
産業振興課産業振興係
電話：03-3578-2551

障害者就労施設等からの物品やサービス 調達についてのお知らせ

区では、障害者の自立を進めるため「平成26年度港区における障害者就労施設等からの物品等の調達方針」を定め、障害者就労施設等からの優先的・積極的な物品やサービスの調達を進めています。

区内事業者の皆さんにも、ぜひ障害者就労施設等からの調達にご配慮くださいますようお願いいたします。

◆内容
障害者就労施設等の扱う物品・サービスや納期等については、ホームページから「優先調達方針に基づく物品等発注の手引き」を確認ください。

INFORMATION その他

港区ホームページ
<http://www.city.minato.tokyo.jp/kenko/fukushi/shogaisha/chotatsu/chotatsu-26.html>

◆発注の相談先

港区福祉売店「はなみずき」
 電話/FAX: 03-3578-4041
 受付時間: 午前9時30分～午後4時30分
 (土・日・祝休)

※各施設の状態により、1回の受注可能数量や納期については、ご要望に添えない場合もあります。詳しくは「はなみずき」までお問い合わせください。

<問い合わせ>

障害者福祉課障害者福祉係
 電話: 03-3578-2386

その他のインフォメーション

中小企業の資金調達をスムーズにする <東京信用保証協会>のご案内

東京信用保証協会は、中小企業の皆さまが金融機関から事業資金をお借入する際、『保証人』となることで資金調達をスムーズにする役割を担う公的機関です。

◆保証制度利用のメリット

- 無担保での利用が可能です。保証付融資の9割以上が無担保でのご利用です。
- ニーズに応じた資金調達が可能です。

協会独自の制度のほか、港区・東京都の「制度融資」が利用可能です。短期資金から最長20年の設備資金まで豊富なメニューをご用意しています。

○さまざまな経営支援メニューが利用可能です。保証による金融支援のほか、経営に関するご相談、ビジネスフェアや公開講座の開催等、経営支援も行っています。

◆主な保証制度

- ① **創業保証** -----
これから創業したい、創業して間もない方へ
- ② **流動資産担保融資保証 (ABL)** -----
売掛金や棚卸資産を活用し資金調達を行う方へ
- ③ **当座貸越根保証** -----
資金ニーズに合わせてお借入、ご返済を希望される方へ
- ④ **特定社債保証 (私募債)** -----
資本市場から直接資金調達を行う方へ
- ⑤ **セーフティネット保証** -----
取引先の倒産、災害、取引金融機関の破綻などにより経営の安定に支障が生じている方へ

<問い合わせ>

東京信用保証協会 本店保証部
 電話: 03-3272-3151

詳しくは東京信用保証協会ホームページ
<http://www.cgc-tokyo.or.jp>
 をご覧ください。

就職に必要な知識・技術・技能を学ぶ <東京都立城南職業能力開発センター> 平成27年度4月生募集

東京都立城南職業能力開発センターでは、求職者向けの訓練を実施しています。このたび、平成27年度4月生を募集します。この機会にさまざまな専門技術を身に付け、就職に役立つ知識・技能を取得してみませんか。

◆対象

求職者

◆申込期間

平成27年1月6日(火)～2月5日(木)

◆内容

建築・電気系等13科目

◆申し込み

住所地のハローワークまたは
 東京都立城南職業能力開発センター

詳しくは東京都立城南職業能力開発センターホームページ

<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/vsdc/jonan/index.html>
 をご覧ください。

<問い合わせ>

東京都立城南職業能力開発センター
 電話: 03-3472-3411



5分で エッセンスが分かる ビジネス書 No.19



『仕事の悩みを自信に変える ドラッカーの言葉』
 尾崎健一著
 日経BP社 / 1728円

マネジメントの概念を確立した経営学者ピーター・F・ドラッカーは、今なお多くの経営者を惹きつけてやみません。著者は、職場のメンタルヘルスに関するコンサルタントですが、企業人にはドラッカーの信奉者が多く、彼らが経営だけでなく、職場のメンタルヘルスにもドラッカーの考えを実践したら問題が少なくなる、と感じていたそうです。そこで、職場のメンタルヘルス問題に発展しやすい事例をあげ、それにあてはまるドラッカーの名言を探し、紹介を試みたのがこの本です。著者自身の気づき、自分自身への振り返りや戒めとして書かれた部分も多く、21の事例は実に共感できる内容となっています。

Business Book Review

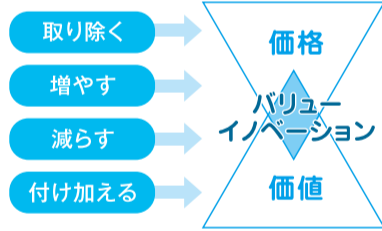
『ファシリテーションの教科書』
 グロービス(著)・吉田素文(著)
 東洋経済新報社 / 2599円

日本企業が悩むさまざまな課題は、煎じ詰める「どうしたら」考える組織にできるのか、ということにつきると執筆者はいいます。そのためには、ファシリテーションができるリーダーの育成が必須であるとしており、本書はその教科書です。

ファシリテーションとは、会議や議論で参加者・チームの意見を引き出し、優れた問題解決へ導くマネジメント能力のことです。グロービスは経営大学院の運営やベンチャーキャピタル事業等を行う会社で、同社に所属する吉田氏は、長年の講師体験をもとに、そのノウハウを初公開しました。すぐに実践できる手法が、丁寧に収録されています。

5分で分かる! ビジネス キーワード No.19

<バリューイノベーション> Value Innovation



ブルー・オーシャン戦略
 ブルー・オーシャン戦略とは、フランスの欧州経営大学院(INSEAD)教授のW・チャン・キムとレネ・モボルニュにより、2005年2月に発表された著書『ブルー・オーシャン戦略』で提唱されました。従来の競争戦略が「事業を成功させるには、低価格戦略か差別化(高付加価値)戦略のいずれかを選択する必要があり」としているのに対し、ブルー・オーシャン戦略では「低コストと顧客にとっての高付加価値は両立し得る」としています。

現代は、目覚ましい技術進歩のおかげで、多彩な製品やサービスを生み出せるようになりました。企業はライバルに勝つために価格競争に陥りがちな状況があります。こうした既存の市場をレッド・オーシャン(血で血を洗う競争の激しい「赤い海」)と呼び、そこから抜け出し

Business Keyword

「どうすれば、考える組織ができるか」
 『ファシリテーションの教科書』
 グロービス(著)・吉田素文(著)
 東洋経済新報社 / 2599円

競争自体を無意味なものにする未開拓の市場(ブルー・オーシャン)を競合相手のいない「青い海」を創造すること——これが、企業が繁栄し続ける唯一の方法である、という考え方です。

著者らは、米国の大衆自動車「T型フォード」から「ニューヨーク市警察」芸術性の高いサーカス団「シルク・ドゥ・ソレイユ」まで、過去120年間30業界以上に及ぶ成功事例の調査をし、重要なのは、技術イノベーションではなく、「バリューイノベーション」と結論づけています。

具体的には、顧客にとってあまり重要ではない機能を省き、その業界では未知の要素を取り入れるのです。その手法として、「取り除く」「増やす」「減らす」「付け加える」という4つのセグメントに、自身が身を置く業界や他社の取り組みを当てはめ、自社の事業を再整理する方法等があります。

港区に根付くお店を案内する

みなとく名店

につぼんの洋食 赤坂津つ井

(につぼんのようによく あかさかつつ井)

2代目女将 筒井公恵 (つつい・きみえ)氏

■問い合わせ
住所：港区赤坂 2-22-24 泉赤坂ビル
電話：03-3584-1851



2代目女将 筒井公恵氏

箸で食べる洋食の草分け
日本人好みにこだわった味わい

べきです。幹さえあれば、そこから必ず若葉が出てきます。当時はそんな思いで支店を閉鎖し、本店だけで営業を続けました(筒井公恵さん)

美しい盛り付けで感動を「笑顔」と「感謝」で復活

あり、接待や家族の団らんにもってこいの雰囲気です。

バブル崩壊後の試練を越えて

「赤坂津つ井」にも、実はバブル崩壊後に試練がありました。経営には全くの素人だった筒井さんは平成13年、銀行からの貸し付け等、借金が3億5000万円に膨らんでいくことを知って「がくせん」とします。

料理の演出と共に、おもてなしの心得として「笑顔」の大切さを、「赤坂津つ井」では重視しています。

「先づ笑顔、次にいらっしやいませ、ありがとうございませした」「お客様あつての吾々の生活」という観念をいつも忘れるな「お客さまの叱言は喜んで聞かせて二度と聞くな」

— 津つ井の10訓より —

赤坂のアメリカ大使館宿舎近くの閑静な場所に店を構える「赤坂津つ井」。『につぼんの洋食』を謳い文句に、日本人好みの味にこだわり、昭和30年代に箸で食べられる洋食を、いち早く始めたお店です。創業者・筒井厚惣氏考案の、「パイヤベースをアレンジした「マルセイユ鍋」、うな丼にヒントを得た、「元祖」ピフテキ丼等、多くのファンに評判のメニューが、今も提供されています。

店を切り盛りするのは、2代目女将の筒井公恵さんと若女将の河内文路さん夫妻です。元料亭の建物を改築した現在のお店は、1階は落ち着いたカウンター席やテーブル席、地下は坪庭を望めるお座敷等5室



写真上段左から、ピフテキ丼、マルセイユ鍋 下段左から、1階、お座敷

平成19年、赤坂2丁目で再出発を始めた。筒井さんを信じて残ったコックさんや、若女将夫婦らの努力で、先代の味も「復活」し、お店は賑わいを取り戻しました。中には、結婚、結婚式後の家族の食事会、お宮参りといった家族のお祝い事にすべて利用してくれる常連客もいるそうです。

一本でも枝が腐っていたら枝を切る



につぼんの洋食 赤坂津つ井

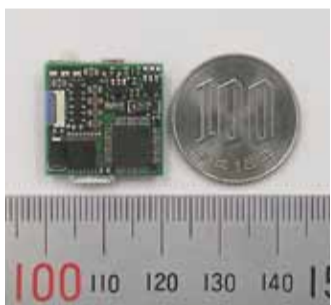
こうしたおもてなしの心得は、毎日、朝礼でスタッフたちが確認し合っています。「赤坂津つ井を継続してゆくことが役員、という筒井さんは、「心からのサービス」を毎日肝に銘じて店に出ています。

港区の匠を伝える

未来に託す 技巧

臼田総合研究所株式会社
代表取締役社長兼研究所所長
工学博士 臼田裕 (うすだ・ひろし)氏

■問い合わせ
住所：港区港南 2-15-1
電話：03-5443-4125



世界最小・最軽量の3次元モーションセンサー「U-BRAIN MicroSmart」

港区三田に事務所を構える臼田総合研究所株式会社は、人間のからだの動きや産業機械の振動を、「正確に見える化」する分野に特化したITソリューションの会社です。

港区の平成25年度新製品・新技術開発支援事業補助金を活用して、世界最小・最軽量の3次元モーションセンサー「U-BRAIN MicroSmart」を開発しました。

既存のモーションセンサーは、体感型の家庭用ゲーム機や、産業用機械の管理システム等に搭載されていますが、臼田総合研究所の3次元モーションセンサーは、さらに精度の高さが要求される分野で活用が見込まれます。



工学博士 臼田裕氏

港区発！世界最小・最軽量の
3次元モーションセンサーを新開発

に勤務していた頃、このドリフト現象を強制的に押さえる技術で特許を取得しました。この技術をもっと活かしたいと考え、特許の権利を持って2005年に独立しました。

その後、ウェアラブル(身につけて持ち歩ける)・コンピュータへの活用提案に狙いを定めました。メーカーへの売り込みを始めたところ、ゴルフのスイングを「見える化」する商品、つまりゴルフクラブに取り付けると、自分のフォームがチェックできるという商品に採用され、ヒット商品となりました。これをきっかけに今や取引の話が米国や台湾・中国・韓

患者の動作・姿勢や体温変化の把握等、わずかな誤差も許されないスポーツや医療分野等です。また、福島原子力発電所内の作業機械状況等、人が近づくには危険な場所での使用等が考えられます。

3次元モーションセンサーは、わずか2グラムという軽さながら、加速度や傾き等を検出する15軸ものセンサーで構成されており、仔細な「動き」の変化だけでなく、明るさや音、温度も検知できる点にあります。

最大の特徴は、モーションセンサーの検出値にはつきものとされているドリフト現象(微振動)による誤差がゼロという点です(通常はプラスマイナス3%)。これは特許を取得しているため、他社にはまねできません。

時代の半歩先を…
早い製品化が成功の秘訣

社長の臼田氏は、以前、大手企業

国からも来るようになっていました。「新技術は、時代の半歩先でないとならない」と実感しています。特許を取得してから製品化に約10年かかるのが一般的です。なるべく早い製品化が、成功の秘訣だと思っています(臼田氏)

今回の世界初の新技術は、港区の助成金で早く製品化できたため、今後の売り込みに全力を注ぎたいと、意欲に燃えています。

<ウェアラブル・コンピューターへの応用例>



新開発の「U-BRAIN Ring」指輪型のモーションセンサー。ユーザーが手を動かすことでパソコンソフト等を操作できる。

▲メガネ等への装着も可能。